

FOX PENN

マイケル・J・フォックス

ショーン・ベン

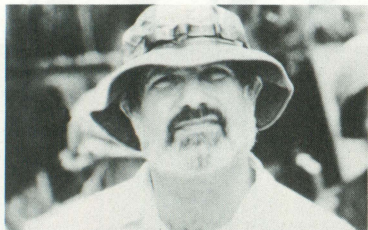
ただひとり。少女を守るため――
仲間すべてを敵にしたアメリカ兵！

名匠テバルマが挑む、あの戦争が生んだ「衝撃の事件」

カジュアリティーズ

コロムビア映画提供 アート・リンソン・プロダクション フライアン・テバルマ作品 マイケル・J・フォックス ショーン・ベン "CASUALTIES OF WAR" 音楽 エンリオ・モリコーネ 撮影 スティーブン・H・フラム A.S.C.
共同製作 フレット・カルソー 原作 ダニエル・ラング (原題未定) 脚本 デビッド・リーフ 製作 アート・リンソン 監督 フライアン・テバルマ オリジナル・サウンドトラック CBS・ソニー・レコード DOBSON RECORDS A COLUMBIA PICTURES RELEASE

'90年＝マイケル・J・フォックスが生まれ変わり―― 《心をゆさぶる感動》をお届けします!



BRIAN DE PALMA



MICHAEL J. FOX



SEAN PENN

★マイケル! ショーン!
そして、デ・パルマ監督!
"ベトナム"にいったい、
何を仕掛けたのだろう。

いまや若手スター No. 1 の人気を誇るマイケル・J・フォックス。彼がこれまでの明るいアメリカン・ボーイや清潔なヤッピーのイメージから脱却して、人間性の深みを演じ、新境地を見せる話題作がこの「カジュアリティーズ」だ。

マイケルが今回扮するのはベトナム帰還兵、エリックソン。ドラマは、彼の回想の形でベトナムの戦場へ立ち戻り、上官と同僚が犯したとある殺人に直面した一兵士エリックソンが、軍の規律と良心の間でゆれ動き、ローン・バトル(たったひとりだけの戦い)を挑む姿を、サスペンスに、そしてヒューマンなタッチで描いていく。共演はマドンナの元亭主、マイケルと人気を二分する「カラーズ」のショーン・ペン。

この野心作を演出したのは、「アンタッチャブル」で巨匠の列に加わったブライアン・デ・パルマ監督。「アンタッチャブル」の撮影後、デ・パルマは同作品のプロデューサー、アート・リンソンと再び組んで、次回作を長年暖めていたダニエル・ランク原作の映画化に決定した。ランクの原作は、69年「ニュー Yorker」誌に掲載されてセンセーションを起こした。

★ひとりの少女を
救おうとした時、
"アメリカ"は(敵)になった!
傷つくことを恐れては、
誰も(ひとりで戦う)こと
はできない…

物語は、1966年に実際に起こったベトナム少女誘拐事件を題材としたものである。中央ベトナム高地へ偵察パトロールに出かけた小隊が“慰安”と称して農村から少女を誘拐したあげく、証拠湮滅のために射殺する。

小隊五人の兵士のうち、ただ一人この残虐行為に反対した上等兵エリックソンは、上官には絶対服従という軍の規律と仲間への忠誠心を裏切って孤立し、命まで狙われるはめになる。ドラマは、エリックソンのローン・バトルを通して、戦場でのモラルの崩壊と、それが若い兵士たちに与える精神的“犠牲”——“カジュアリティーズ”をつきつめていく。そして、さらにその傷が今日の社会と個人のありかたにいかにかかわっていくかが、暗黙のうちに語られる。

★'90年映画界の話題を独占!
“第3次ベトナム戦争映画
ブーム”をリードする娯楽
感動作ついに登場!

79年コッポラ監督の「地獄の黙示録」で第一次ベトナム戦争ブームが起り、86年にはオリバー・ストーン「プラトーン」やキューブリックの「フルメタル・ジャケット」などで第二次ベトナム戦争映画ブームが起こった。そして、80年代最後の年、デ・パルマのこの作品が全米公開され、続く「ジャックナイフ」「7月4日に生まれて」なども含めて第三次ベトナム戦争映画ブームの到来と、いま全米映画界では話題沸騰。その先陣をきって公開されるのがこの「カジュアリティーズ」である。

カジュアリティーズ

2月10日(土)よりロードショー

有楽町マリオン9F 03
丸の内ピカデリー2 (201) 2881

道玄坂109隣り ザ・プライム6F 03
渋谷セントラル (770) 1990

伊勢佐木町2丁目・交差点 045
横浜セントラル (261) 2790

日・祝 10:00 平日 12:00 2:20 4:40 7:00

月・火・水・木・金 10:00 12:05 2:20 4:35 6:50

日・祝 10:20 平日 12:30 2:40 4:50 7:00

●特別鑑賞券(一般¥1,300/学生¥1,100/ペア券¥2,300/テレカ付)一般¥1,900/学生¥1,700発売中

金・土 11:10 1:25 3:40 5:55 8:10